

新宿区議会に関する アンケート調査

報告書

(令和3年度)

令和4年3月

新 宿 区 議 会

はじめに

新宿区議会では、地方分権を推進していく中で、区民に信頼される区議会を目指して議会改革に取り組んでいます。

その取組の一つとして、平成21年度より4年毎に「区議会に関するアンケート調査」を実施し、区民の皆様の区議会に対する意識、ご意見やご要望等をお伺いしています。

昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大は、区民生活や地域経済に大きな影響を及ぼしています。区議会では、引き続き感染症への対策はもちろんのこと、区民の暮らしの安全・安心を守る施策に取り組んでまいります。

また、区議会ではペーパーレス化や効率化、生産性の向上のため、ICTを活用した議会改革も進めているところです。

今回のアンケート調査は、新たに区民の皆様の区議会に対する意識、ご意見やご要望を把握するとともに、過去の調査(平成29・25・21年度実施)以後の区政の動きを踏まえつつ、ご意見やご要望の変化を的確に分析し、区議会の取組みの成果を検証するために行ったものです。

なお、調査の内容や方法等については、自治・議会・行財政改革等特別委員会で検討を重ねてまいりました。

この調査結果は、今後の更なる議会改革を進めるうえでの貴重な基礎資料として、大いに活用させていただきます。そして、常に時代に即した議会運営に努めるとともに、区民の代表として信頼される透明性の高い、より身近で開かれた新宿区議会を目指していく所存です。

最後に、お忙しい中、今回の調査にご協力いただきました多くの区民の皆様に、心より御礼を申し上げます。

令和4年3月

新宿区議会議長 桑原 ようへい

目 次

I 調査の実施概要	1
1 調査実施の目的	3
2 調査の設計	3
3 調査内容	3
4 回収結果	3
5 居住地域区分	4
6 地域別回収状況	5
7 性・年代別回収状況（全体）	6
8 性・年代別 web 版回収状況	6
9 報告書の見方	7
10 考慮すべき標本誤差	8
II 調査回答者の属性	9
1 性別・年代別	11
2 居住地域	14
3 居住年数	14
4 職業	15
III 調査結果の要約	17
IV 調査結果の分析	27
1 議会に関する基本的なこと	27
（1）区議会議員選挙の投票の有無	29
（1 - 1）投票した理由（複数回答）	33
（1 - 2）投票しなかった理由（複数回答）	39
（2）区議会が区役所本庁舎内にあることの認知	41
（3）区議会への関心度	45
（3 - 1）関心がある理由（複数回答）	49
（3 - 2）関心がない理由（複数回答）	53
（4）区議会に関する情報源（複数回答）	57
（5）区議会議員の認知状況	63
（6）区議会を傍聴した経験の有無	67
（6 - 1）区議会を傍聴しようと思った理由（複数回答）	68

(6 - 2) 区議会を傍聴したことがない理由（複数回答）	69
(6 - 3) 区議会を傍聴していただくために必要なこと（複数回答）	73
(7) 自由意見	76
2 議会だより・ホームページ・インターネット中継	85
(1) 区議会だよりの閲読状況	87
(1 - 1) 区議会だよりで読む記事（複数回答）	91
(1 - 2) 区議会だよりの内容についての評価	96
(1 - 3) 紙面の読みやすさ	100
(1 - 3 - 1) 改善の提案（自由意見）	104
(1 - 4) 区議会だよりの入手経路（複数回答）	106
(1 - 5) 区議会だよりを読まない理由（複数回答）	108
(1 - 6) 区議会だよりが手元にあった場合の閲読意向	109
(2) 区議会のホームページの閲覧状況	110
(2 - 1) ホームページの内容についての評価	114
(2 - 2) 閲覧する主な内容（複数回答）	115
(2 - 3) ホームページを充実するために必要なこと（複数回答）	117
(2 - 4) 区議会のホームページを見たことがない理由（複数回答）	118
(3) 区議会のインターネット中継の視聴状況	121
(3 - 1) 議論や審議についての印象	125
(3 - 2) インターネット中継を視聴したことがない理由（複数回答）	126
(4) 区議会に力を入れて欲しいと思う情報発信の方法（複数回答）	132
(5) 自由意見	138
3 議会改革について	143
(1) 議会改革に対する取り組みで知っていること（複数回答）	145
(2) 「政治倫理条例」の認知状況	147
(2 - 1) 「政治倫理条例」についての評価や感想	151
(3) 区議会の ICT 化に対する評価や感想	152
(3 - 1) 自由意見	156
(4) 区議会活動を区民にわかりやすくするために充実すべき活動（複数回答）	162
(5) 自由意見	168
4 その他、区議会に関すること	181
(1) 区議会ですとり上げて欲しい身近に感じている区政や地域の課題（複数回答）	183
(2) 自由意見	192
V 資料編	203
VI 集計表	217

I 調査の実施概要

I 調査の実施概要

1 調査実施の目的

新宿区議会に関する区民意識調査（アンケート調査）を行い、区民の議会に対する意識・意向等を把握し、今後の議会改革の取り組み等の基礎資料とする。

2 調査の設計

- | | |
|-----------|-----------------------------------|
| （１）調査地域 | 新宿区全域 |
| （２）調査対象 | 新宿区在住の日本国籍を有する満 18 歳以上の男女 |
| （３）標本数 | 3, 0 0 0 人 |
| （４）対象者の抽出 | 新宿区住民基本台帳から層化無作為抽出 |
| （５）調査方法 | 配布は郵送方式、回答収集は郵送方式又は web 回答方式 |
| （６）調査期間 | 令和 3 年 7 月 2 6 日（月）～ 8 月 2 7 日（金） |

3 調査内容

- （１）回答者の属性について
- （２）議会に関する基本的なことについて
- （３）議会だより・ホームページ・インターネット中継について
- （４）議会改革について
- （５）その他、議会に関することについて

4 回収結果

- | | |
|----------|---------------------------|
| （１）有効回収数 | 770 件（郵送 527 件、Web 243 件） |
| （２）有効回収率 | 25.7% |

I 調査の実施概要

5 居住地域区分

居住地域の集計にあたっては、地域的特性を把握するために、本庁および各特別出張所管轄に基づき新宿区内を10地域に分けた。対象地域の出張所管轄および地域内該当町丁目は次のようになる。

◆地域内該当町丁目

	該当町丁目		該当町丁目
四谷	四谷一丁目～四丁目、四谷本塩町、四谷三栄町、四谷坂町、若葉一丁目～三丁目、須賀町、左門町、信濃町、南元町、荒木町、舟町、愛住町、大京町、霞ヶ丘町、内藤町、片町、住吉町〔2番(一部)、8番(一部)〕、新宿一丁目～二丁目、新宿三丁目〔1番～14番、15番(一部)、16番、17番(一部)、30番、31番(一部)、32番〕、新宿四丁目、新宿五丁目〔1番～12番、13番(一部)、14番(一部)、15番～17番、18番(一部)〕、歌舞伎町一丁目〔1番(一部)〕	戸塚	戸塚町一丁目、戸山三丁目〔21番〕、下落合一丁目〔1番(一部)、3番(一部)、7番(一部)、12番、13番、14番(一部)、16番(一部)、17番(一部)〕、西早稲田一丁目、西早稲田二丁目〔1番(一部)、3番～21番〕、西早稲田三丁目、高田馬場一丁目～二丁目、高田馬場三丁目〔1番～7番、8番(一部)、9番～15番、16番(一部)、18番(一部)、19番～46番〕、高田馬場四丁目、百人町三丁目〔29番(一部)〕、百人町四丁目
笹塚町	市谷田町一丁目～三丁目、市谷本村町、市谷砂土原町一丁目～三丁目、市谷左内町、市谷加賀町一丁目～二丁目、市谷甲良町、市谷船河原町、市谷長延寺町、市谷鷹匠町、市谷山伏町、市谷八幡町、神楽坂一丁目～六丁目、細工町、二十騎町、揚場町、津久戸町、東五軒町、西五軒町〔1番(一部)、2番～13番〕、赤城元町、南榎町、袋町、弘方町、南町、北町、納戸町、南山伏町、北山伏町、白銀町、下宮比町、矢来町、若宮町、岩戸町、中町、笹塚町、横寺町、筑土八幡町、新小川町、神楽河岸	落合第一	上落合一丁目、上落合二丁目〔1番～2番、3番(一部)、4番～14番、16番(一部)〕、下落合一丁目〔1番(一部)、2番、3番(一部)、4番～6番、7番(一部)、8番～11番、14番(一部)、15番、16番(一部)、17番(一部)〕、下落合二丁目～四丁目、中落合一丁目〔1番～15番、17番、20番、21番〕、中落合二丁目、中落合三丁目〔1番～13番、14番(一部)、15番、19番(一部)〕、中落合四丁目〔1番(一部)〕、中井二丁目〔1番～3番〕、高田馬場三丁目〔8番(一部)、16番(一部)、17番、18番(一部)〕
榎町	市谷薬王寺町、市谷柳町、市谷仲之町、赤城下町、天神町、榎町、東榎町、早稲田町、早稲田南町、馬場下町、原町一丁目～三丁目、河田町〔2番(一部)〕、若松町〔5番(一部)、6番(一部)〕、喜久井町、築地町、弁天町、中里町、山吹町、改代町、水道町、早稲田鶴巻町、西早稲田二丁目〔1番(一部)〕、西五軒町〔1番(一部)〕	落合第二	上落合二丁目〔3番(一部)、15番、16番(一部)、17番～29番〕、上落合三丁目、西落合一丁目～四丁目、中落合一丁目〔16番、18番、19番〕、中落合三丁目〔14番(一部)、16番～18番、19番(一部)、20番～29番〕、中落合四丁目〔1番(一部)、2番～32番〕、中井一丁目、中井二丁目〔4番～30番〕
若松町	住吉町〔1番、2番(一部)、3番～7番、8番(一部)、9番～15番〕、市谷台町、富久町、河田町〔1番、2番(一部)、3番～11番〕、若松町〔1番～4番、5番(一部)、6番(一部)、7番～38番〕、戸山一丁目～二丁目、戸山三丁目〔1番～15番、16番(一部)、17番、19番、20番〕、余丁町〔1番～7番、8番(一部)、9番～14番〕、西早稲田二丁目〔2番〕	柏木	西新宿六丁目〔2番～4番、5番(一部)、6番(一部)、7番～9番、10番(一部)〕、西新宿七丁目〔1番、2番(一部)、7番～23番〕、西新宿八丁目、北新宿一丁目～四丁目
大久保	新宿五丁目〔13番(一部)、14番(一部)、18番(一部)〕、新宿六丁目～七丁目、歌舞伎町一丁目〔30番(一部)〕、歌舞伎町二丁目、大久保一丁目～三丁目、戸山三丁目〔16番(一部)、18番〕、百人町一丁目～二丁目、百人町三丁目〔1番～28番、29番(一部)、30番～32番〕、西新宿七丁目〔2番(一部)、3番～6番〕、余丁町〔8番(一部)〕	角筈・区役所	西新宿一丁目～五丁目、西新宿六丁目〔1番、5番(一部)、6番(一部)、10番(一部)、11番～26番〕、西新宿七丁目(一部)、歌舞伎町一丁目〔1番(一部)、2番～30番〕、新宿三丁目〔15番(一部)、17番(一部)、18番～29番、31番(一部)、33番～38番〕

◆居住地域区分図



6 地域別回収状況

	調査対象	構成比	標本数	有効回収数(Web)	回収率(%)
全体	266,377	100%	3,000	770(242)	25.7
四谷	32,440	12.2%	365	96(28)	26.3
笹原町	30,788	11.6%	347	89(42)	25.6
榎町	29,010	10.9%	327	76(24)	23.2
若松町	26,038	9.8%	293	91(25)	31.1
大久保	29,742	11.2%	335	71(26)	21.2
戸塚	29,179	11.0%	328	100(30)	30.5
落合第一	26,774	10.1%	302	77(28)	25.5
落合第二	25,809	9.7%	291	76(16)	26.1
柏木	22,853	8.6%	257	44(13)	17.1
角筈・区役所	13,744	5.2%	155	29(10)	18.7
居住地域無回答				21	

※調査対象(18歳以上の人口)は令和3年7月1日現在

I 調査の実施概要

7 性・年代別回収状況（全体）※（）内はWeb回答のみ

	全体			男性			女性		
	標本数	有効回収数	回収率 (%)	標本数	有効回収数	回収率	標本数	有効回収数	回収率 (%)
全体	3,000	770 (243)	25.7 (8.1)	1,437	308 (118)	21.4 (8.2)	1,563	446 (125)	28.5 (8.0)
18,19歳	38	7 (3)	18.4 (7.9)	14	2 (1)	14.3 (7.1)	24	5 (2)	20.8 (8.3)
20歳代	500	72 (45)	14.4 (9.0)	241	33 (21)	13.7 (8.7)	259	38 (24)	14.7 (9.3)
30歳代	569	91 (47)	16.0 (8.3)	305	33 (16)	10.8 (5.2)	264	58 (31)	22.0 (11.7)
40歳代	546	127 (64)	23.3 (11.7)	272	51 (33)	18.8 (12.1)	274	76 (31)	27.7 (11.3)
50歳代	439	135 (49)	30.8 (11.2)	216	46 (23)	21.3 (10.6)	223	89 (26)	39.9 (11.7)
60歳代	330	124 (27)	37.6 (8.2)	159	60 (18)	37.3 (11.3)	171	64 (9)	37.4 (5.3)
70歳代	314	114 (8)	36.3 (2.5)	141	54 (6)	38.3 (4.3)	173	60 (2)	34.7 (1.2)
80歳以上	264	83 (-)	31.4 (-)	89	29 (-)	32.6 (-)	175	53 (-)	30.3 (-)
年齢無回答		17 (-)							

※「有効回収数」の男女の合計は、「性別」の無回答が「16」あったため、「全体(770)」と一致しない。

※「有効回収数」の20歳代、80歳以上で「性別」の無回答が各「1」あったため、「全体」と一致しない。

8 性・年代別web版回収状況

	全体			男性			女性		
	回収数	Web 回収数	Web 回収率 (%)	回収数	Web 回収数	Web 回収率 (%)	回収数	Web 回収数	Web 回収率 (%)
全体	770	243	31.6	308	118	38.3	446	125	28.0
18,19歳	7	3	42.9	2	1	50.0	5	2	40.0
20歳代	72	45	62.5	33	21	63.6	38	24	63.2
30歳代	91	47	51.6	33	16	48.5	58	31	53.4
40歳代	127	64	50.4	51	33	64.7	76	31	40.8
50歳代	135	49	36.3	46	23	50.0	89	26	29.2
60歳代	124	27	21.8	60	18	30.0	64	9	14.1
70歳代	114	8	7.0	54	6	11.1	60	2	3.3
80歳以上	83	-	-	29	-	-	53	-	-
年齢無回答		-							

9 報告書の見方

(1) 集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。

(2) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。

(3) 本文や図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。

(4) 統計数値を考察するにあたっては、表現をおおむね以下のとおりとしている。

例	表 現
80.1～80.9%	約8割
81.0～82.9%	8割強
83.0～84.9%	8割台半ば近く
85.0～85.9%	8割台半ば
86.0～87.9%	8割台半ばを超え
88.0～88.9%	9割近く
89.0～89.9%	9割弱

(5) 自由意見については、記載内容によって分類し、項目ごとに掲載している。

(6) 集計対象について、極端にサンプルの数が少ない場合は記述の対象から除外している。

I 調査の実施概要

10 考慮すべき標本誤差

今回のような調査対象（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全数調査（全ての人を調査）と比べ、調査結果に差が生じることがある。その誤差を標本誤差という。

標本誤差は、95%の信頼度で以下の式から得られる数値であり、真の値（全数調査をした場合に得られる数値）は標本調査で得られた結果に、この標本誤差を引いた値と加えた値の範囲内にあることとなる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N : 母集団（18 歳以上の人口）
n : 比率算出の基数（回答者数）
p : 回答の比率（%）

例えば、ある設問の回答数が 770 であり、「A」と回答した人の比率が 60%だった場合、その結果を調査対象（母集団）全体の結果として考える時に、「大小 3.5%の誤差がある。つまり A の回答比率は 56.5～63.5%である。」とみることができる。

回答の比率 基数 (n) \ (P)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
1,500	±1.55%	±2.07%	±2.37%	±2.53%	±2.58%
1,200	±1.73%	±2.31%	±2.65%	±2.83%	±2.89%
1,000	±1.90%	±2.53%	±2.90%	±3.10%	±3.16%
770	±2.16%	±2.88%	±3.30%	±3.53%	±3.60%
500	±2.68%	±3.58%	±4.10%	±4.38%	±4.47%
300	±3.46%	±4.62%	±5.29%	±5.66%	±5.77%

※ 上表は $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ として算出している。